令和７年度

入園案内

１号認定子ども

幼保連携型認定こども園

田園調布学園大学　みらいこども園

＜捨 我 精 進（しゃがしょうじん）＞

本園は、学校法人調布学園の大学院・大学・高等学校・中学校・幼稚園の併設園です。

学校法人調布学園は、１９２６年調布女学校を設立し、開学から９８年の歴史を刻んでいます。本学園は創立から一貫して建学の精神「捨我精進」に基づき、人としての優しさや思いやりの心を育み、考える力を伸ばし、柔軟な思考と行動力のある人間性豊かな人を育て、もって、地域社会や国際社会に積極的に貢献できることを基本理念としています。

本園もこの理念に基づく教育・保育を行っています。

園章の由来

田園調布学園大学のシンボルマークである“なでしこ”の花弁をアレンジした星型を中心に置きました。大学との連携を大切にするとともに、未来に向かっていく子どもたちの希望や力を星の形に託すという意味が込められた園章です。

田園調布学園大学のシンボルマーク

ご挨拶

本園は、よりよい教育と子育て支援が出来るようにと、川崎市で初めての幼保連携型認定こども園として平成２２年４月に設立されました。開園当初から保護者の方々とみらいこども園が「子どもを大切に育てたい」という思いを共有し、密接な信頼関係のもと、一人一人の育ちを大切にしながら丁寧に教育・保育を行ってきました。「遊びの中で学ぶ」「人や環境に主体的に関わる」を教育・保育の考え方の基本としており、わが国が推奨している新しい教育観【生きる力を身につけるために】＝アクティブラーニング・非認知能力を高める教育の大切さ等と同じ考えに至っています。現在日本では、経済成長の停滞や新型コロナウイルス、気候変動から起きる災害（猛暑、大雨）が各地で発生しており、私達の生活は、予測不可能な状況に困難を生じております。将来子ども達が大人になったとき、どんな状況にも負けない強い力を備えるには「人間形成の基礎(理性、感性、知恵)を培う乳幼児期の過ごし方がとても大切である」と改めて痛感しております。

乳幼児期の遊びには、総合的な学びがたくさん含まれています。机上の学習形態の教えや、人に与えられ、教えられたことにただ従うのではなく、たくさんの環境を通して体験したことから学ぶことが大切です。子ども達が自ら興味や関心をもって好きなものを見つけ、豊かな感性と共に物事に能動的に関わり、自信をもって自己表現出来ることが重要と考えます。

職員一同、子ども達の思いや行動を大切にし、乳幼児期の発達を踏まえて、一人一人に即した学びの場所・時間・教育保育内容を考え、資質や能力を高めるよう日々努力しています。そしてお子さんが大切な人間形成の基礎を本園で十分培えることを切に願っております。

田園調布学園大学みらいこども園
園　長　　勝浦　芳子

本園の理念と子ども像

みらいこども園は、子どもも大人も一人一人が尊重され、生きる喜びがもてるところです。

〇大人の愛情に包まれて安心して育つ子ども
〇心も体も弾ませて健やかに育つ子ども
〇人と関わる楽しさを感じながら育つ子ども

教育・保育の方針

〇**体験の中で学べる環境をつくり**、人格形成の基盤＜健康（運動）・表現・人間関係（社会性）・言葉・環境（自然に関する興味・関心）＞を身に付けるようにします。
〇主体的に取り組む**遊びを重視し、意欲や自信**がもてるようにします。
〇**一人一人の歩みに応じた関わりや配慮をし**、子どもが安心して自己発揮できるようにします。

特　色

〇自園の給食室で独自の献立に基づいた完全給食を実施し、乳幼児期から豊かな食事に接し、心身の健康を培います。
〇同年齢・異年齢の子ども、小学生、中学生、高校生、大学生との関わりが多くもてる環境を生かし、人と触れ合う楽しさや喜び、また思いやりや憧れの気持ちが自然に育まれるようにしていきます。
〇併設校である田園調布学園大学と緊密な連携を図り、常によりよい教育・保育の在り方を研究し、実践していきます。

みらいこども園の教育・保育

1．みらいこども園の理念・・・私たちの描くみらいこども園の姿です。

みらいこども園は、子どもも大人も一人一人が尊重され、生きる喜びがもてるところです。

2．みらいこども園で育つ子どもの姿

1　大人の愛情に包まれて安心して育つ子ども

子ども達が大人の愛情に包まれ、安心して過ごして欲しいと願っています。愛情に包まれて安心して過ごすことで、自分の思いを素直にありのままに表現し、その子らしい個性を発揮していきます。乳幼児期に大人の愛情をしっかり感じながら育つことが、将来の人格形成に大きな影響を与えると考えます。

みらいこども園では、保育者と保護者、地域の皆様で子ども達一人一人をしっかりと受け止め、たくさんの愛情を注いで育てていきます。

☆具体的な内容

〇保育者が常に子どもの気持ちに寄り添い、明るい笑顔で保育を行うことで、園児一人一人が自分らしさを発揮しながら園生活を楽しく送ります。

〇一人一人の発達に即した生活習慣（衣服の着脱・食事・排泄など）の形成を図り、園児が自分でしようとする気持ちを尊重します。

〇一人一人の子どもの心身の健康状態を保育者全員で把握し、さらに専門知識をもつ看護師が対応することで、安心して園生活を送ることができます。

〇保育参観・参加や行事を通して、子ども達の様子を園と家庭で共有し、子どもの成長を支えます。

2　心も体も弾ませて健やかに育つ子ども

子ども達が生きる力をつけ、生涯にわたり豊かな人生が送れるようにと願っています。生きる力をつけるために、なにより大切なこと、それは、自分の好きなことを見つけて夢中になって遊ぶことです。豊かな心、思いやり、意欲、好奇心、忍耐、社会性など、人生に必要なことは遊びを通して育っていきます。

みらいこども園では、一人一人の発達や興味・関心に基づいた環境を整え、専門性を身につけた保育者が、きめ細かな援助、指導を行い、心と体を思う存分に使って遊びを楽しく充実させていきます。

☆具体的な内容

〇広い園庭やホールでの遊び、また散歩に出かけるなど身体を十分動かして伸び伸びと遊びます。様々な体験が全身のバランス感覚を養い、しなやかな身体を作ります。

〇身近な自然（季節の草花、昆虫など）に触れて興味や関心を深めます。また、栽培活動（夏野菜、さつまいも等）を通して、収穫する喜び・調理する楽しさを体験します。

〇土や砂、水、廃材など身近な素材を使って遊ぶ楽しさを十分味わいながら、好奇心を育み、創造力、表現力などを高めていきます。

〇七夕・ひなまつりのコンサート（音楽鑑賞）やおたのしみ会（人形劇観劇）、移動動物園（動物に直接触れる）など、体験をすることにより、豊かな心情が育まれます。

〇栄養士や保育者との関わりの中で、食べることを楽しみながら食事が摂れるよう導きます。５歳児の給食は、ランチルームでバイキング形式を取り入れ、自分で食器に盛る楽しさを体験しながら食事をします。

３　人と関わる楽しさを感じながら育つ子ども

子ども達に、人への信頼感や思いやりの心をもち、互いに尊重しながら、人と生きることの楽しさや大切さを感じて欲しいと願っています。いろいろな人と関わり、楽しさや喜び、時には辛さや悔しさなど様々な体験をすることが、乳幼児期にはとても大切な学びとなります。

みらいこども園では、同じ年の友達、年齢の異なった友達との遊びの充実、そして保育者、保護者、地域の方々などと触れ合う機会をつくり、子ども達にとって、多くの人との出会いが学びの場となるようにしていきます。

☆具体的な内容

〇友達と関わって遊ぶ中で、遊具の取り合いや気持ちのぶつかり合いを経験し、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いに気付いたりするなど、人との関わり方を学びます。

〇大型積み木や組立遊具などを使って、友達と一緒に遊ぶ中で、工夫したり、協力したりすることを学びます。

〇園生活の中で、良いことや悪いこと、決まりの大切さなどに気付き、自分で考えながら行動することを学びます。

〇新城小学校の児童と年間を通じて交流活動を行い小学校に憧れや親しみをもつことができます。

〇田園調布学園大学の学生と触れ合い、お兄さんやお姉さん達と過ごす喜びを感じとることができます。

3．教育・保育を行う日及び時間、行わない日

	１号認定子ども
対象	お子さんが満３歳以上で９時～１４時までの教育を希望される場合
教育・保育を行う日	月曜日～金曜日
教育・保育を行う時間	９：００～１４：００ ※３歳児クラスは入園後一定期間、保育時間を短縮します。 ＜預かり（サポート）保育＞ 月～金　７：００～ ９：００ １４：００～２０：００ 月～金（長期休業中） ７：００～２０：００ 土曜日　７：００～１７：００（保護者が就労の場合のみ） ※教育・保育及び運営上、預かり保育を行わない日があります。 ※預かり保育は別途利用料金が必要です。
教育・保育を行わない日	土曜日、日曜日 国民の祝休日 開園記念日　６月　５日 次年度入園希望者選考日　１１月　１日 職員研修日（年１回） 春季休業日　４月　１日～４月　７日 夏季休業日　７月２１日～８月３１日 冬季休業日　１２月２１日～１月　９日 学年末休業日　３月２１日～３月３１日 ※天候や感染症の流行等により休園する場合があります。

4．主な行事予定（令和６年度実施・予定）

４月・・・入園式、保護者会、クラス懇談会
５月・・・親子遠足
６月・・・移動動物園、プール開き
７月・・・なつまつり、七夕コンサート
９月・・・プール納め、秋桜（コスモス）の会、親子で遊ぼう☆ふれあいひろば（乳児）
１０月・・・親子で遊ぼう☆ふれあいディ、お弁当散歩（３歳児）、遠足（４歳児・５歳児）、芋掘り
１１月・・・クラス懇談会
１２月・・・もちつき、生活発表会（ワクワクげきじょう）、お楽しみ会（人形劇）
２月・・・クラス懇談会、お別れ遠足（４・５歳児）
３月・・・ひなまつりコンサート、修了式、進級式、遠足（３歳児）
その他・・・七夕、豆まき、ひなまつり、などの季節行事
誕生会（幼児クラスのみ該当月）、避難訓練、安全指導、交通安全指導、定期健康診断・身長体重測定
保育参観・参加、給食試食会、個人面談、始業式、終業式
地域子育て支援センターとの交流、大学との交流、小学校・中学校・高等学校との交流など

5．職員構成

園長、副園長、主幹保育教諭、保育教諭、看護師、栄養士、事務職員
嘱託医、非常勤職員、給食業務従事者

その他

1．給食関係

- 主食（ご飯、パン、麺類）、副食（主菜、副菜）、汁物の完全給食です。
- 園内の調理室で、安全かつ衛生面に十分配慮して調理しています。
- 栄養のバランスを考えた上、季節感のある色々な食材を取り入れた献立になっています。
- 温かさを感じる食事となるよう、また物を大切に扱うことが学べるように、陶磁器の食器を使用しています。
- ３歳児は各保育室で、４・５歳児はランチルームで給食を食べます。
- １４時以降保育を受ける園児には、手作り中心のおやつを用意しています。
- １８時以降保育を受ける園児には、降園後ご家庭での夕食までお腹がもつように、補食を用意しています。
- 毎月、栄養士が作成した「給食だより」を発行し、献立表とともに各家庭に配信しています。

＜アレルギー対応について＞

アレルギーがあるお子さんには除去食や代替食の対応をしています。
（除去食申請の手続きが必要です）

2．保健関係

在園する全ての園児に対して、小児科医による定期健康診断を行っています。
年間では、プール前健診、尿検査（４・５歳児）、歯科健診を行っています。
また、毎月、看護師が作成した「保健だより」を発行し、園での対応や、ご家庭での健康管理について情報を提供しています。

3．防災について

地震、火災、台風その他の事故からお子さんを守るために、様々な状況を想定した避難訓練を年間計画に基づき毎月実施しています。

4．安全対策

日常的にお子さんの安全管理に努めておりますが、特に次のような方法で安全対策を強化しています。

- 各所に防犯カメラや緊急通報機器を設置し、不審者侵入等の非常時に備えています。
- 警備会社と契約し、安全管理に努めています。
- 建物設備は、メンテナンス業者による清掃、定期点検等を行っています。
- ＡＥＤを設置しています。職員は救急法講習会を受講しています。
- 警察による交通安全教室を行なっています。日常や登降園時の交通安全指導を受けます。
- 毎月、年齢に合わせて安全指導を行っています。
- 日常及び定期的に園庭整備として、固定遊具点検や遊ぶ環境の確認・整備を行っています。

5．大学との連携・・・大学生との交流、大学教員によるワークショップ、大学教員と保育教諭等との共同研究他

6．地域、諸機関との連携・・地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、区子育てサロン、
高齢者施設、各区保健所、地域療育センター、児童相談所
川崎市社会福祉協議会、町内会等との連携

7．服装・・・・・ 制服を着用します。

8．送迎・・・・・ 送迎は、保護者の方に徒歩または自転車でお願いしています。
送迎バスはありません。また、自家用車での送迎はできません。

9．保護者会組織・・・「さくら会」があります。（全員加入）

10．川崎市幼稚園協会（含 幼保連携型認定こども園）に加入します（会費の徴収があります）。

★・☆・★・☆・★・☆ 諸費用について（令和６年度実績額） ☆・★・☆・★・☆・★

（1）保育料等

	1 号認定子ども （教育を希望する 3・4・5 歳児）
出願料	5,000 円 （入園出願時）
入園料 （入園受入準備金）	150,000 円 （入園手続時）
施設設備費	30,000 円 （入園後初回月）
保育料	川崎市が決定する利用者負担額は、世帯の所得にかかわらず０円
特定保育料 （教育・保育の質の向上のための費用）	5,500 円（月額） 教育環境整備費 教育充実費 （教材・食育費含む） 研修充実費
保育料振替手数料	100 円＋消費税（月額）
給食費	主食代 2,000 円（月額） 副食代 4,500 円（月額）(*)
その他費用	制服（帽子・カバン含む） およそ 25,000 円 個人持ち用品 （クレヨン、ハサミなど） およそ 3,000 円 行事費 随時集金

＊ 年収 360 万円未満相当世帯の子どもと、すべての家庭における要件を満たす第３子以降の子どもについては、副食代が免除となります。

（2）預かり保育（サポート保育）利用料（1 号認定子ども）

時間帯	金額（日額）	備　　考
7:00 ～ 9:00	500 円	
9:00 ～ 14:00	1,600 円	※ 土曜日、長期休業期間中に課金
14:00 ～ 17:00	900 円	
17:00 ～ 19:00	600 円	
19:00 ～ 20:00	400 円	

＊本園の「サポート保育料」は時間単位・分単位としての設定ではありません。時間帯による料金になっております。
＊時間帯に応じて、給食、おやつ、補食を提供します。給食、おやつ、補食の費用は、利用料に含まれています。
＊9:00 ～ 14:00 の時間帯は土曜日・長期休業期間に利用する場合に徴収します（8月の夏期保育において、給食時間を越えてのお預かりは、サポート料金が発生いたします）。
＊サポート保育を利用するための条件などは特にありません。お子さんの健康状況等配慮してご相談の上、利用の決定をさせていただきます。土曜日の利用事由は就労のみとさせていただきます。
＊1ケ月ごとに利用希望日、時間などの予定を「れんらくアプリ」で前月までに申請し、園長の承認後、利用できます（遅れて申請された場合、体制上利用できないこともあります）。
＊教育・保育及び運営上、サポート保育を行わない日があります。
※ 20 時を過ぎてもお迎えのない場合、10 分につき 500 円の遅延料金を徴収します。

【令和７年度　１号認定子ども　クラス年齢表】

クラス年齢	生年月日
3歳児（3年保育）クラス	令和　3年4月2日～令和4年4月1日
4歳児（2年保育）クラス	令和　2年4月2日～令和3年4月1日
5歳児（1年保育）クラス	平成31年4月2日～令和2年4月1日

★・☆・★・☆・★・☆・★ 令和７年度　定員及び申込日程 ★・☆・★・☆・★・☆・★

		０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
定員	１号認定子ども				25人	25人	25人	75人
	２号認定子ども				25人	25人	25人	75人
	３号認定子ども	６人	18人	21人				45人
募集人数	１号認定子ども				25人程度	若干名 注）	なし	

注）令和６年９月現在での見込みです。正式には募集要項でご確認ください。

<1号認定子ども>

●入園願書、募集要項配布日時

令和６年１０月１５日（火）から１０月３１日（木）までの、平日 10：00～16：00

（土曜日（10/19，26）・日曜日は配布を行いません。）

●配布場所・・・・・・・・・・・みらいこども園　園舎１階ロビー

●願書受付及び入園選考日・・・令和６年１１月１日（金）

＊詳細は募集要項をご覧ください。

学校法人　調布学園

大正 15 年（1926 年）創立

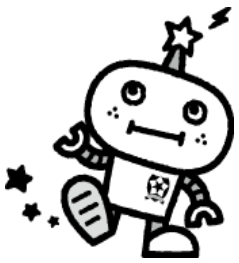
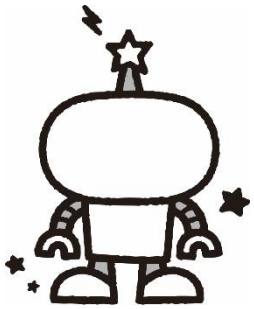
理事長　　西村　昭

所在地：〒158-8512　東京都世田谷区東玉川2-21-8
ＴＥＬ：03-3727-6121

★田園調布学園大学大学院
人間学研究科
所在地：〒215-8542　神奈川県川崎市麻生区東百合丘 3-4-1
ＴＥＬ：044-966-9211

★田園調布学園大学
人間福祉学部・子ども未来学部・人間科学部
所在地：〒215-8542　神奈川県川崎市麻生区東百合丘 3-4-1
ＴＥＬ：044-966-9211

★田園調布学園中等部・高等部（全日制普通科　女子）
所在地：〒158-8512　東京都世田谷区東玉川2-21-8
ＴＥＬ：03-3727-6121

★調布幼稚園
所在地：〒158-0084　　東京都世田谷区東玉川 1-1-21
ＴＥＬ：03-3720-6720

★田園調布学園大学　みらいこども園
所在地：〒211-0042　神奈川県川崎市中原区下新城 1-15-3
ＴＥＬ：044-751-1211
ＦＡＸ：044-751-1711
https://www.mirai-kodomoen.ed.jp/